

あなたのそばに、孫の手と みんかい



0120-57-5950

受付時間 9:00 ~ 19:00 (土・日・祝も受付)

ホームページで検索!!

みんかい

<http://www.minkai.jp>

介護の必要な高齢者でも

毎日楽しく暮らしたい!  
旅行や行楽に行きたい!



特集

# 高齢者の アクティビティ



出かけよう! 楽しもう! 介護旅行 & レク



## 高齢者住宅入門

高齢者や要介護者を対象にした施設の種類は非常に多く、「違いがよく分からず」という声を聞きます。高齢者住宅入門では、特に「介護付有料老人ホーム」と「サービス付き高齢者向け住宅」について説明します。

## みんかいがお勧めする 有料老人ホーム特集

みんかいホーム見学  
お役立ち!! 沿線マップ

一都三県沿線MAP収録



10823962(01)

## Enjoy 2

在宅にいる要介護高齢者でも外出したい。  
旅行に行きたい。そんな時どうする?  
ご存知でしたか?「トラベルヘルパー」制度

要介護高齢者が旅行や外出をするとき、一緒に付き添ってくれる介護・看護職員のことを「トラベルヘルパー」といいます。この章では「トラベルヘルパー」の制度や現状について紹介します。

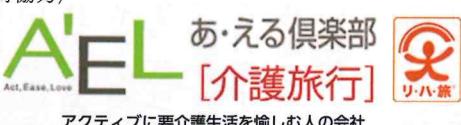
要介護高齢者は、「旅行に行きたい!」と思っていても、実際は、そう簡単に旅行に行くことはできません。例えば、常時、車いすで過ごしている要介護高齢者の場合、目的地までの移動手段、宿泊場所での過ごし方（入浴や食事）目的地での対応（トイレや休息）など、事前に具体的な方法を考えおかなければならぬ多くの課題があります。ご家族の立場で考えた場合、「旅行に連れて行ってあげたい。でも、道中、身の回りの世話をすることが自分にできるのか心配だ」、本人の立場で考えた場合、「普段から家族に世話になつていて、旅行に行きたいなんて贅沢なことは言えない、これ以上迷惑をかけるわけにはいかない」と思う人が多いのではないかでしょう。

そんな時、ぜひ活用したいのが「トラベルヘルパー」です。トラベルヘルパーとは、特定非営利活動法人日本トラベルヘルパー協会が認定している外出支援専門員資格のこと。一定の養成研修を受け、認定試験に合格した、旅行同伴の専門資格者のことです。

このトラベルヘルパー資格を持つた専門員に同伴をしてもらひ、温泉旅行やお伊勢参り、先祖の墓参り、遠方に住む孫の結婚式、さらには海外旅行に至るまで、多くの要介護高齢者が旅行を楽しんでいます。また、トラベルヘルパーが同伴する旅行は、

宿泊を伴うものだけではなく、例えば、相撲や野球の観戦、思い出のレストランで食事など、日帰りの外出や様々なアクティビティに利用することができます。

（取材協力）



株式会社 SPI あ・える俱楽部

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目19番13号  
トップビル10F  
TEL : 03-6415-6480 (代表) FAX : 03-6415-6488  
MAIL : tabi@aelclub.com  
URL : <http://wwwaelclub.com>

東京都知事登録旅行業第2-6179号

ご旅行のご相談は

お電話、FAX、メールでお気軽にお問い合わせください。  
(土日・祝日も受付中!)



特定非営利活動法人  
日本トラベルヘルパー協会  
(外出支援専門員)®

トラベルヘルパーが笑顔の連鎖を拓げます

私たちはトラベルヘルパーのスキルとマインドを持った人が増えれば、日本はもっとやさしい人が増える国になると考えています。

特定非営利活動法人  
日本トラベルヘルパー協会

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-13  
トップビル10階  
TEL : 03-6415-6688 (代表) FAX : 03-6415-6488  
MAIL : [info@travelhelper.jp](mailto:info@travelhelper.jp)  
URL : [www.travelhelper.jp](http://www.travelhelper.jp)

トラベルヘルパーとして学びたい、働きたい、  
当協会とともに活動していただける方のご参加を  
お待ちしています。

「少し、介護旅行の実態について説明させていただきます。

お話を伺ったのは、トラベルヘルパーの生みの親で、株式会社SPL「あ・える俱楽部」の代表取締役社長で、特定非営利活動法人日本トラベルヘルパー協会の理事長でもある篠塚恭一さんです。



篠塚 恭一 (しのづか きょういち)  
1961年9月生 (千葉県出身)

- ・内閣府認証 NPO 日本トラベルヘルパー(外出支援専門員)協会理事長
- ・日本旅セラピー協会常任理事事務局長
- ・介護・子育て NPO あっとホームサービス理事
- ・幸せで明るい高齢社会を構築する民間企業の新規事業研究会(審美会)代表世話人
- ・環境福祉学会会員 など

#### 主な経歴

- 83年 学校法人東京観光専門学校卒業  
近畿日本ツーリスト添乗員を経て旅行関連人材派遣会社に勤務経営企画担当
- 91年 株式会社エス・ピー・アイ設立
- 96年 パリアフリー旅行人材(トラベルヘルパー・外出支援専門員)の育成・派遣事業開始
- 98年 高齢者・障害者の旅を支える「あ・える俱楽部(A'E'L Active & Enjoy-Life)」発足  
旅行事業開始
- 01年 株式会社 SPLに商号変更、超高齢者向け健康サービス事業開始
- 06年 特定非営利活動法人日本トラベルヘルパー協会設立理事長就任
- 07年 国土施策創発調査健康長寿社会の実現に向けた地域常在型観光等の推進方策に関する調査検討委員会(NPO活動)
- 09年 東京大学・筑波大学市民後見人養成プロジェクト  
(文部科学省「社会人の学びなおし」)運営委員会オブザーバー就任等

介護旅行に対するニーズは非常に高く、「あ・える俱楽部」でも年間に900件以上の問い合わせがあり、リピーター率はなんと70%近いそうです。また、介護旅行というと、宿泊をイメージしますが、約50%は日帰り旅行のお客様です。近年の傾向としては、連泊旅行の希望が増えているそうです。さらに、中には病院を退院し、老人ホームへ入居するので、その間の添乗をお願いしたい、といった依頼もあり、お客様のニーズは多岐にわたっているようです。

利用者の平均介護度は「2・98」と比較的高く、身体的には重度な高齢者の利用が多いそうです。旅行者や家族のニーズでは、「家族や仲間と樂



房総海水浴 お客様97歳  
トラベルヘルパー2名とライフセーバーと



スイス



ブルガリア(トラベルヘルパーと)

〈写真提供〉あ・える俱楽部

しい時間を過ごしたい」という一般的な旅行に対するニーズの他に、少しでも元気なうちに「旅行に行つておきたい」「行かせてあげたい」という高齢者旅行特有のニーズも多く存在しているそうです。

相談から旅行に行くまでの流れを簡単に説明すると、要介護高齢者から旅行の相談を受けた場合(多くは家族からの相談)、必ず担当のケアマネジャーや訪問介護員などの専門家にヒアリングをし、旅行者のADLの把握に努めます。把握した内容を基に、添乗員の選定(トラベルヘルパーの人員体制やサポートに必要な機器の洗い出しなど)を行い、旅行日程の企画を作成、ご家族やご本人に説明の上、旅行費用を提示するという流れです。

なお「あ・える俱楽部」では、旅行の性質上、必ず本人の意思確認を行っているため、「本人から旅行に行きたい」という意思表示がとれない場合は、依頼を断る場合もあるので、旅行希望者は、よく担当者の説明を聞いて、確認をするようにお願いします。

最後に篠塚社長の取材を通して、印象に残った話をひとつ。国の制度は、「要介護高齢者は移動しない」という前提のもと成り立っていて、例えば、公共交通機関でも、障害者と違い、要介護高齢者やその付添者に対する割引制度はないのが現状です。パリアフリー・ユーバーサルデザインの普及で、要介護高齢者が移動するための環境は整っています。これからは介護旅行を通して、気軽に移動することができる制度の導入に力を尽くしていきたいです。

「要介護高齢者も移動する」。言われてみれば当たり前の話です。旅行だけでなく、病院受診など意外と要介護高齢者が移動する機会は多いのです。近所を散歩するといった、小さな外出も広い意味では旅行であり、気分転換や自立支援に向けた具体的な方法なのではないでしょうか。この機会に、改めて外出の必要性について、考えてみてはいかがでしょうか。

最後に篠塚社長の取材を通して、印象に残った話をひとつ。国の制度は、「要介護高齢者は移動しない」という前提のもと成り立っていて、例えば、公共交通機関でも、障害者と違い、要介護高齢者やその付添者に対する割引制度はないのが現状です。パリアフリー・ユーバーサルデザインの普及で、要介護高齢者が移動するための環境は整っています。これからは介護旅行を通して、気軽に移動することができる制度の導入に力を尽くしていきたいです。